

12月20日(木)

キャンドルホルダーをつくろう

10月の様子



10月にみんなで切った粘土をたまおさんが一度持ち帰り窯で焼いてきてくださいました。

今日はそのレンガを使って22日(金)に迎える冬至の晩、LED キャンドルを入れて灯す『キャンドルホルダー』を作ります。

製作開始早々「れんががたおれちゃうよ」「どうやってつければいいの？」 そんな声が、あちらこちらから聞こえてきます。

そんな時、たまおさんはとても穏やかな声で話し始めます。

「みんなが作ったレンガは大きさも違うし、まっすぐじゃないところもあるよね。でも、それが素敵だと思わない？」

「凸凹してるからボンドをつけても倒れちゃう事があるけれど

じゃあ、どうしたら倒れないか、どうやってくっつけたらいいか、自分で考えることが一番大事な事なんだよ。」



真剣に創作することに取り組んでいると、上手、下手という事ではなくて何よりも自分の感性が育っていくのではないのでしょうか？
繰り返し心を込めて作っていく間に、自然の大きさを知り自分がどんな人にならなければならないか、がわかってくる。
造形活動の時間はそれが一番の目的(めあて)だと感じるのです。